

具体解明要求に対する回答を受ける 「高知インター南バスプラザの廃止」について

J R 四国労組は、本日の年末賞与についての団体交渉終了後、10月に会社より提案のあった「高知インター南バスプラザの廃止」について、組合から求めていた具体解明要求に対する回答があり協議した。

【申し入れ】

- 1 高知インター南バスプラザを廃止する理由及び廃止時期を2020年3月31日とした理由を明らかにされたい。

1 廃止の理由

高知インター南バスプラザについては、インターネットの進展や高知空港と神戸空港との間での新規LCC就航等、取り巻く環境の変化により、減収に歯止めがかからず、営業時間の見直し等による経費削減では、収支改善を図ることができず廃止することとしました。

2 廃止時期

高知インター南バスプラザ第2駐車場の土地賃貸借契約の満了期日が2020年1月末日であり、この時期に第2駐車場を廃止することやご利用者への周知期間等を総合的に勘案し、年度末である2020年3月31日としました。

- 2 今回の施策による組合員の異動や配置転換など、会社の対応について考え方を明らかにされたい。

今回の施策実施に伴う社員等の異動や配置転換は、さしあたってはありません。

なお、今後も販売部門における効率化は継続的に取り組む必要があることから、今回を含めた今後の効率化施策全体の中での必要な異動や配置転換は、先々において当然に想定されることと考えます。

- 3 バスプラザ及び予約センターの今後の展望とその計画、また販売部門全般のあり方について会社の考え方を明らかにされたい。

高速バスチケットの予約・販売のあり方が、電話予約・販売窓口からインターネットによる予約・決済に移行しており、特に外部販売サイト（楽天等）と契約している路線においては、インターネットによる販売が40%を超える状況となっており、この傾向はさらに進展するものと思われます。

このことから、引き続きバスプラザの廃止を含めた営業体制の見直しを進める必要があります。

また、インターネットの進展に伴い電話の着信件数も減少傾向にあり、その内容も多くが予約業務から案内業務へ変化しています。

現在改修中のホームページにAIチャットボット（人工知能による文字での案内）の導入を検討しており、ホームページへの誘導により案内業務の軽減化が図れるものと考えています。

これらの施策の実施により生み出された余剰人員の活用が喫緊の課題と考えています。

J R 四国労組 自動車支部ニュース

2019年11月18日（No.6／2終）

発行責任者／大谷 清

編集責任者／幸

大

<主なやりとり>

組 合：既存建物の今後の活用方及び第1駐車場はどのようになるのか。

会 社：現段階、建物はそのまま活用し窓口だけを閉鎖する。また、第1駐車場についても現行のまま使用することとする。

組 合：引き続き、バスプラザの廃止を含めた営業体制の見直しとあるが、具体的な計画はあるのか。

会 社：現在のところ何も決まっていない状況である。今後も店舗の収支状況、お客様サービス等を総合的に勘案しながら判断していくこととする。

組合は、今回の施策は組合員への雇い止め等の不利益な取り扱いが発生しないこと及び収支改善を図るための取り組みであることを確認するとともに、この間の高速バスチケットの予約・販売形態の推移や今後より一層、外部販売サイトをはじめとするインターネットの利用がさらに拡大していくことが想定されること等も踏まえ、了承した。

以 上